



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp



第 701 号

2026 年 8 月 31 日

発 行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

市民生活を守り、再建するために全会派賛成で決議を採択

八千代市議会は9月議会初日（8月27日）、8月13日の千葉県を襲った豪雨の被害から市民を救済するために全会派一致の「決議」を採択しました。

令和 8 年 8 月千葉豪雨に関する決議

本年 8 月 13 日から 14 日に掛けて千葉県内を襲った記録的な豪雨は、本市にも大きな被害をもたらした。市内では、道路の冠水や通行止め、土砂崩れ、河川の増水、住宅への浸水などが発生し、市民生活に深刻な影響が生じている。市は、レベル 4 大雨危険警報の発令に伴い、災害対策本部を設置した。これを受け、市議会も、初となる災害対応支援本部を設置し、災害情報等収集・整理などに取り組んできた。

発災後、市職員を始め、関係機関、事業者及び地域の皆様が、避難所の開設、被害状況の把握、応急対応、復旧作業及び被災者支援に当たっている。災害対応に尽力されている全ての方々に深く敬意と感謝を表するものである。被災した市民が一日も早く平穏な生活を取り戻せるよう、必要な支援及び復旧措置を速やかに実施する必要がある。その際は、被害状況、復旧の見通し、支援制度及び手続方法を分かりやすく発信するとともに、申請を待つだけでなく、行政側から必要な支援につなげるプッシュ型の支援を行うなど、市民の状況に応じた対応が求められる。よって、本市において、下記の事項について速やかに取り組むよう強く求めるものである。

記

- 1 被災者の生活再建を迅速に支援し、床上浸水等により生活が困難な世帯を重点的に支援すること。
- 2 被災者・事業者向け支援制度を一覧化し、対象者に行き届く分かりやすい情報発信を行うこと。
- 3 災害廃棄物の受入れ場所の拡充等により早期収集を進めるとともに、申請を要しない地区単位の収集を実施すること。
- 4 道路の早期復旧と安全確保に努め、通学路の安全確保を最優先すること。
- 5 今回の豪雨を踏まえ、防災・減災対策を進めること。

市民の切実な要求・課題を議会でも求めます

豪雨災害による八千代市の被害状況は、死者 1 人、住宅被害では、全壊、半壊、一部破損の被害は発生していないとされていますが、床上浸水 394 棟、床下浸水 145 棟、その他、車の水没による放置車両も多数発生しており、八千代市にとってこれまで経験したことのない未曾有の災害となりました。

21 日、日本共産党市議団は千葉県議団と一緒に、市内の被災状況を視察するとともに、大和田公民館に避難している方々から、「野菜が食べられない」「下着が足りない」「風呂に入れない」など切実な要望を伺いました。

都市型水害の危険性と想定を超す大雨への新たな備えが求められており、日本共産党は、国をあげた抜本的な防災の見直しと被災者支援の新しい枠組みを求めてまいります。